

東舞子

2015/11/30 (12月号)

神戸市立東舞子小学校

平成27年度学校だより

<http://www.kobe-c.ed.jp/hmi-es>

「広島への修学旅行」

木枯らしに吹かれて明石海峡に立つ白帆が鋭さを増し、冬の訪れを告げています。毎年、「えっ、もう12月。」と驚いているように思いますが、いつの間にか年末が近づいてきています。大事な2学期の締めくくり、保護者の皆様には、ご多用の中、個別懇談会のためご足労いただき、貴重な時間を頂戴いたします。よろしく申し上げます。

先日、6年生は広島への修学旅行を終えました。この間、ずっと取り組んできた平和学習のまとめの学習として、平和記念公園、爆心地、原爆ドーム、本川小学校資料館、平和記念資料館等を巡り、原爆投下当時のお話を広島在住の田中稔子さんからお聴きしました。田中稔子さんは、爆心地から2kmという距離で小学校への登校途中に被爆され、生死の境を彷徨う体験をされました。数年前の本校の卒業生の祖母にあたる方で、世界的に有名な壁面七宝焼きのアーティストでもあります。普段から原爆の語り部をされているのではなく、毎年、本校の6年生の為に特別にご自身が体験された原爆の投下当時の辛いお話をしてくださっています。重く貴重なお話に、子供たちは真剣に耳を傾けていました。体験された方のお話を聴くことで、心に響くものがあつたのではないかと思います。その後、子供たちは夕闇迫る平和記念公園を移動し、「原爆の子の像」(原爆病の為に12歳で亡くなった佐々木禎子さんを慰霊するため同級生たちが寄付を集めて建てた像)の前で、平和の集いを行いました。クラスの代表が平和の誓いの言葉を述べ、全校生みんなで作った平和への願いがこもった折鶴をブースに納めました。音楽会の曲♪ほらね、♪を全員で合唱しました。美しい歌声に、行き交う方々も足を止め聞き入っておられました。東舞子小学校6年生190人が心をつなぐ大切な時間が流れました。



校庭の施設建設工事の終了“HIGAMAI WALKER” ㉓

長い間、運動場を狭くしていた施設建設工事がようやく終了しました。この工事は、今現在、南校舎の1階にある「学童コーナー」が過密となっていることを受けて、もう一部屋、別の場所に「学童コーナー」をつくることをきっかけに、体育倉庫の1棟、開放管理棟、うさぎ小屋などを建て直すことになった工事です。デッドスペースとなっていた場所を有効活用し、一体的に建てられましたので、運動場を狭くすることなく、新しい「学童コーナー」のスペースを確保することができました。その付帯工事として、他の施設も使いやすく充実しました。特に、ちょっと片隅に追いやられていた感のあつたうさぎ小屋が綺麗になり、みんなで見守りやすくなったのが嬉しいです。今は、狭いゲージの中ですが職員室前の廊下でたくさんの先生方や子供たちにかわいがられています。また、職員室から離れてしまうのはちょっと寂しいですが、運動広場も完備した新築一戸建てのうさぎ小屋はきっと快適でしょう。保護者の皆様も、学校にお立ち寄りの折にぜひご覧ください。

校長 小野晃弘

